

裕 圭裕圭裕
一 子一子一

○

裕 裕裕 健裕
一 一一 太一

○

とカ見壁「にの「の「にを裕裕メ机かい散裕
書れるにう寄声う声も出見一一ンにつるら一
かン。かしる「ん「して「の「はて机か宅
れダかんみ来「もも「とパスが「「でつ（
て「っ「た週どしし「ソマ置食脚「て夜
いはは「いる「んだた「裕一
。9月30日に『期限』
「を「ち

て美「健と「健裕「「を中健中部部中中
い香今太健最太一何今伺津太津屋屋津津
る「ま「太初「「の日っ瑛の圭のの裕家
。健でパ「はググこはい太少子ソ真一・
太「「ジグ「「と「る（し（フん（リ
の本当出すケ「前に分「俺「1後6ア中3ビ
左腕にもあり裕「！「グ「を出す。
瞳を潤ませ

圭子 「さあ、晩御飯にしましょう」
 大樹 「健太は、仕事どうなん？」
 大樹 「順調やで、福岡の生活にも慣れてきた」
 大樹 「し、最近昇給したし」
 裕一 「室内、椅子に座って、ソワソワしている」
 裕一 「健太、小さい急ぎに立ち上がり、今日もやるか！」
 裕一 「ゆっくると立ち上がり、健太の前に立つ」
 大樹 「あれ、つかやん、勝つね、上がっていかない」
 大樹 「笑い、やるの？ やめときいや」
 裕一 「よ！ テンションは、いくらにする？」
 裕一 「少し！ 考え、勝った方が一万や」
 裕一 「張切り、なして、勝った方が一万や」
 健太 「と、裕一、ぞ！ いる。最初は、ぽん」
 健太 「健太、パ、キを出している」
 健太 「靴、財布、お財布から一万円札を出して、裕一に渡す」
 健太 「は、裕一、勝つから、お金の受け取り、」

